

多々良川ゆめプラン事業2008	記録者	木下 マス子
わくわく体験事業活動記録書	開催日時	平成20年12月23日(火) 13:00~15:00
団体名：松島公民館、ふくおか湿地保全研究会	開催場所	東部水処理センター横河口部
行事名：絶滅危惧種引越し大作戦	参加人数	4名

今回のわくわく体験の概要：  
 前日までに保護しておいたオカミミガイ類の実物を見てもらい、採集法を説明した。  
 工事予定のヨシ原でゴミを回収しながら、地面に張り付いたゴミや流木の下などから巻貝類を採集。  
 ゴミを6袋回収。オカミミガイ類を7個体とカワザンショウガイ類、カニ類を採集。  
 数十メートル下流のヨシ原内に引越しさせた。  
 なお、前日までの分とあわせると、オカミミガイ類は26個体を保護。

参加者の感想：（3名程度）  
 ・もうやめようとした最後にオカミミガイを見つけ、参加した甲斐があった。 ・小  
 さくて、探すのが大変だった。こんなところに絶滅危惧種がいるとは思わなかった。

活動団体の感想：  
 護岸工事で、希少種の生息地であるヨシ原の一部が消滅することが判明し、1月には現場の工事が始まるということで、12月中になんとかしないと間に合わない状況に、急遽企画しました。  
 当初予定していた21日(日)が雨のため、23日に順延しましたので、当日のキャンセルもあって参加者は4名でした。  
 企画から実施日まで時間がありませんでしたので、ゆめプランのHPに掲載し、松島公民館でチラシを配布しました。また、地元で希少種が生息していることを知ってもらうように、松島自治連合会、箱崎中学校、箱崎清松中学校、松島小学校へチラシを持参しました。  
 参加者は少なかったが、希少種を少しでも引越しさせることが出来ました。今後は希少種が生息する貴重なヨシ原を保全するためにみんなで考えていきたいと思います。

